

(1) 避難方針（案）

① 崇化館中学校区、梅坪台中学校区、朝日ヶ丘中学校区

■避難方針案

- ・崇化館学区→逢妻学区、浄水学区、保見学区

学区の南側は国道 153 号で逢妻学区へ避難。その他は、国道 155 号で浄水学区、保見学区へ避難。学区内の指定緊急避難場所等の避難場所は、名鉄三河線よりも東側の区域の避難者が避難する。

- ・朝日ヶ丘学区→竜神学区、豊南学区

名鉄三河線よりも東側の区域の避難者は、国道 248 号及び市道で豊南学区へ避難、又は県道 419 号で竜神学区へ避難する。学区内の指定緊急避難場所等の避難場所は、名鉄三河線よりも西側の区域の避難者が避難する。

- ・梅坪台学区→保見学区

国道 155 号又は猿投グリーンロードで保見学区へ避難する。

■対象学区の不足する収容人数

No.	学区名	避難者数	避難者数		指定緊急 収容人数	広域避難地等 収容人数	不足する 収容人数
			水害	土砂			
101	崇化館	15,530 人	15,530 人	20 人	2,460 人	0 人	13,070 人
102	朝日ヶ丘	12,060 人	12,060 人	20 人	4,330 人	4,120 人	3,610 人
116	梅坪台	8,310 人	8,240 人	100 人	1,810 人	1,840 人	4,670 人

※数値はそれぞれ一行を四捨五入しているため、表中の避難者数等により求まる不足する収容人数とは異なる場合がある。

■隣接学区の受入可能人数

No.	学区名	避難者数	指定緊急 収容人数	広域避難地等 収容人数	受入可能人数
103	豊南	3,340 人	5,360 人	520 人	2,540 人
104	高橋	6,820 人	4,620 人	0 人	0 人
107	保見	2,050 人	7,650 人	9,750 人	15,350 人
109	猿投台	5,910 人	2,890 人	0 人	0 人
112	竜神	400 人	4,910 人	650 人	5,150 人
113	美里	2,150 人	4,590 人	0 人	2,440 人
114	逢妻	600 人	6,540 人	0 人	5,940 人
120	井郷	780 人	3,910 人	3,330 人	6,450 人
128	浄水	90 人	5,020 人	770 人	5,690 人

※数値はそれぞれ一行を四捨五入しているため、表中の避難者数等により求まる受入可能人数とは異なる場合がある。

- ・崇化館では 13,070 人、朝日ヶ丘では 3,610 人、梅坪台では 4,670 人、合計で 21,350 の収容人数が不足する。
- ・隣接する学区のうち、高橋、猿投台は学区外の避難者を受け入れる余力がない。また、高橋、美里は矢作川の対岸にあり、避難途中に被災する可能性があるため適切とは言えない。このため、豊南、保見、竜神、美里、逢妻、井郷、浄水が避難先候補となる。これら学区の受入可能人数は合計で 43,570 人である。
- ・以下に、避難先となる学区の組合せを示す。各学区の避難先は、距離の近い避難先候補から選定した。

学区名	不足する 収容人数		学区名	受入可能 人数	学区名	受入可能 人数	学区名	受入可能 人数
崇化館	13,070 人	→	逢妻	5,940 人	浄水	5,690 人	保見	15,350 人
朝日ヶ丘	3,610 人	→	豊南	2,540 人	竜神	5,150 人		
梅坪台	4,670 人	→	保見	15,350 人				

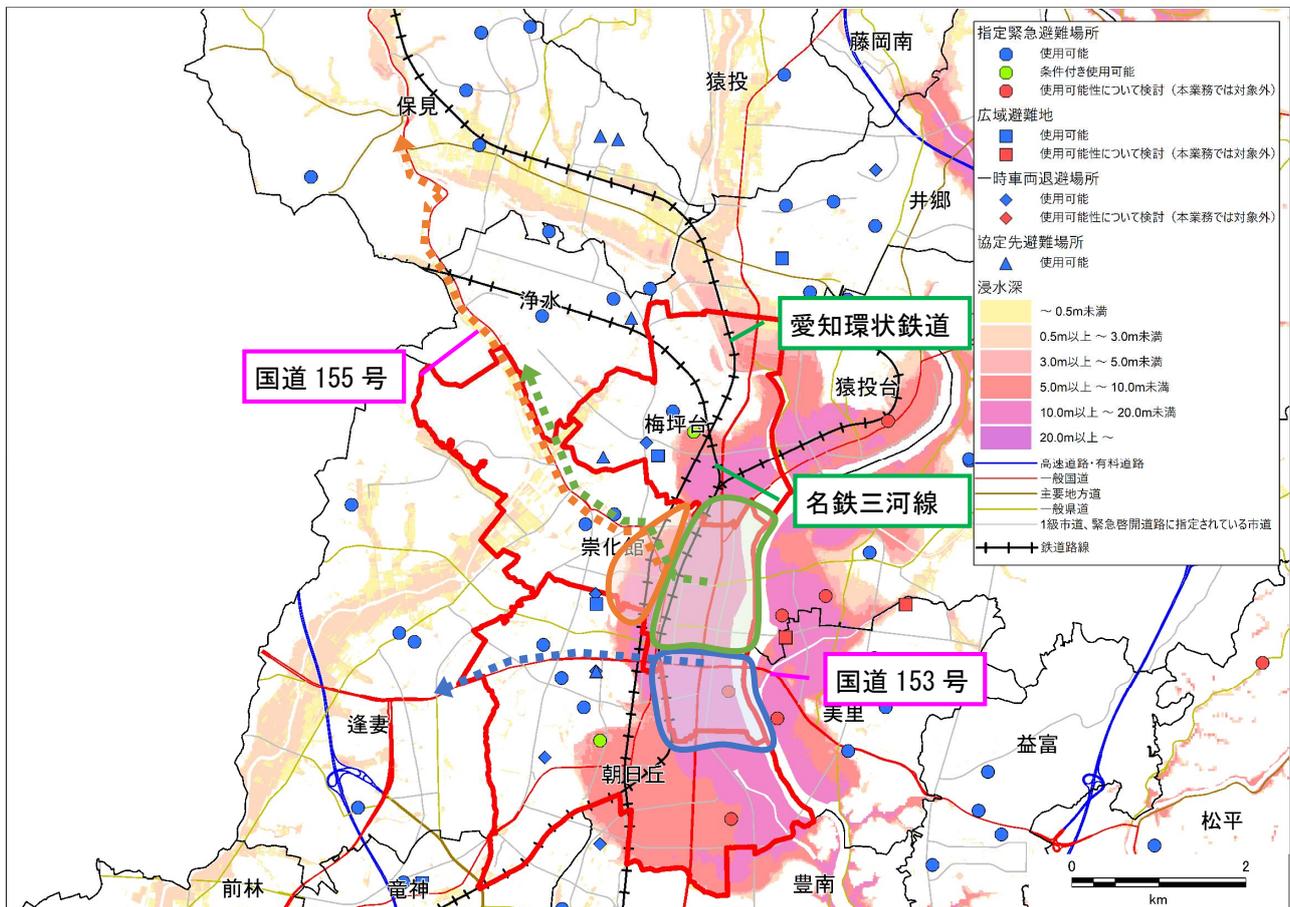
a) 崇化館中学校区

【地区概要】

- ・学区の東側を中心に浸水するため、避難者は学区の東側に集中する。
- ・学区内の利用可能な指定緊急避難場所等の避難場所は、学区の西側に位置する。
- ・名鉄三河線と愛知環状鉄道が学区を縦断している。このため、鉄道横断箇所で交通が集中する可能性がある。

【避難経路】

- ・学区の南側に、国道 153 号が横断しており、東西の移動が可能である。このため、国道 153 号より南側の区域の避難者は、国道 153 号により逢妻学区へと避難する。
- ・国道 153 号より北側の区域の避難者は、国道 155 号により北上し浄水学区方面へと避難する。
- ・名鉄三河線よりも東側の区域の避難者は、鉄道横断箇所で滞留が発生し避難時間が長くなる。このため、地理的距離の近い、学区内の指定緊急避難場所等の避難場所、又は隣接する浄水学区へと避難する。
- ・名鉄三河線よりも西側の区域の避難者は、国道 155 号をさらに北上し、保見学区へと避難する。
- ・また、崇化館中学校区内の受入可能な避難施設は、避難行動要支援者などの遠距離の移動が困難な方や徒歩での避難者も受け入れる。



崇化館中学校区の避難方針（案）

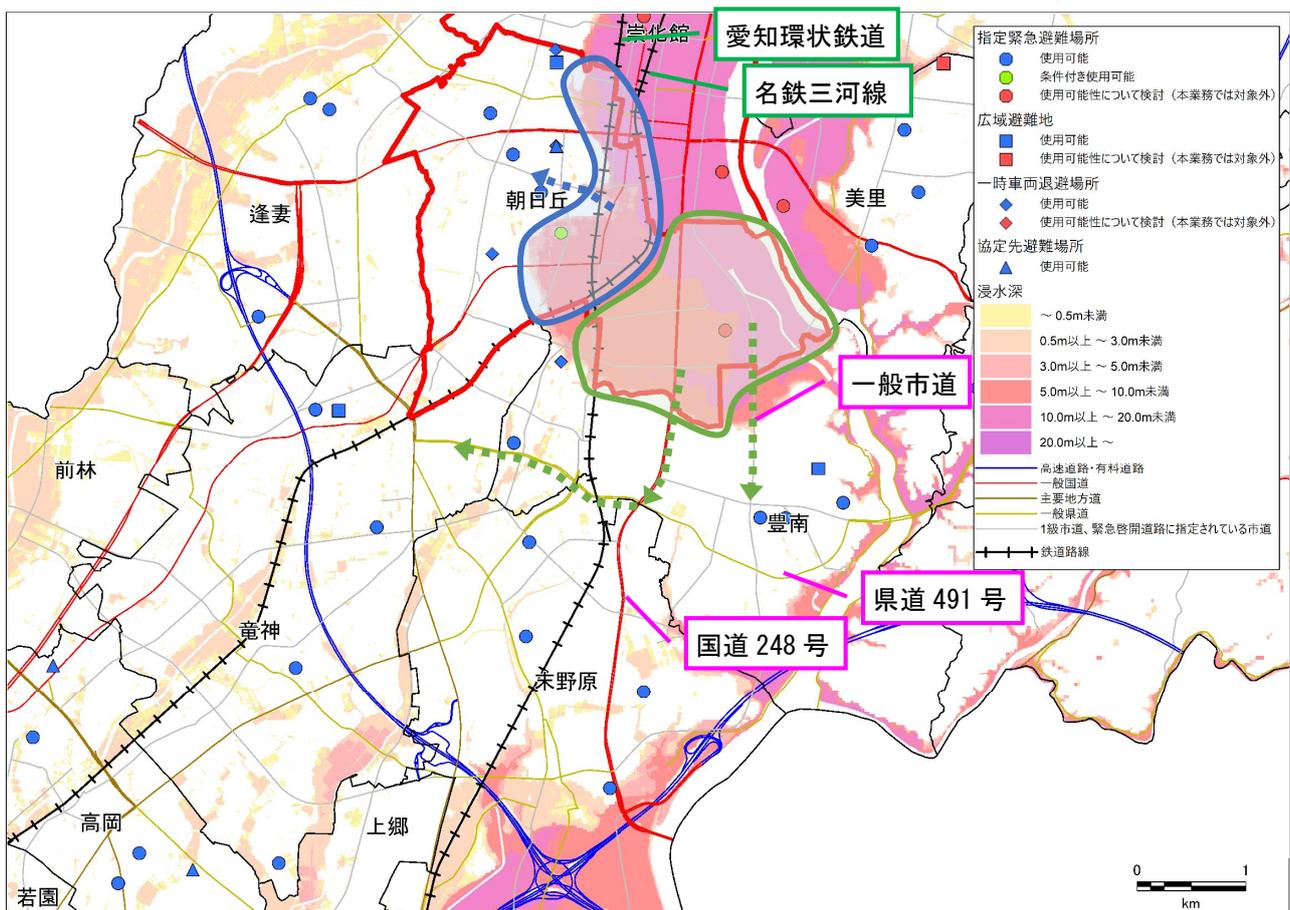
b) 朝日丘中学校区

【地区概要】

- ・学区の東側を中心に浸水するため、避難者は学区の東側に集中する。
- ・学区内の利用可能な指定緊急避難場所等の避難場所は、学区の西側に位置する。
- ・学区の中央付近を、名鉄三河線と愛知環状鉄道が縦断している。このため、鉄道横断箇所にて交通が集中する可能性がある。

【避難経路】

- ・鉄道横断箇所への流入量を抑制するため、名鉄三河線よりも西側の区域の避難者が、学区内の利用可能な指定緊急避難場所等の避難場所へ避難する。
- ・名鉄三河線よりも東側の区域の避難者は、国道 248 号や市道を南下し豊南学区へと避難する。豊南学区だけでは収容人数が不足するため、県道 491 号を西へ向かい竜神学区へと避難する。
- ・ここで、国道 248 号をさらに南下すると末野原学区へと行けるが、末野原学区は上郷学区と隣接しており、上郷学区の避難先候補となるため、豊南学区に収容できない避難者は竜神学区へと避難することにした。
- ・なお、避難先とした竜神学区は、後述する上郷学区と避難先が重複するため、名鉄三河線よりも東側の区域の避難者は、豊南学区へと優先して避難する必要がある。
- ・また、朝日丘中学校区内の受入可能な避難施設は、避難行動要支援者などの遠距離の移動が困難な方や徒歩での避難者も受け入れる。



朝日丘中学校区の避難方針（案）

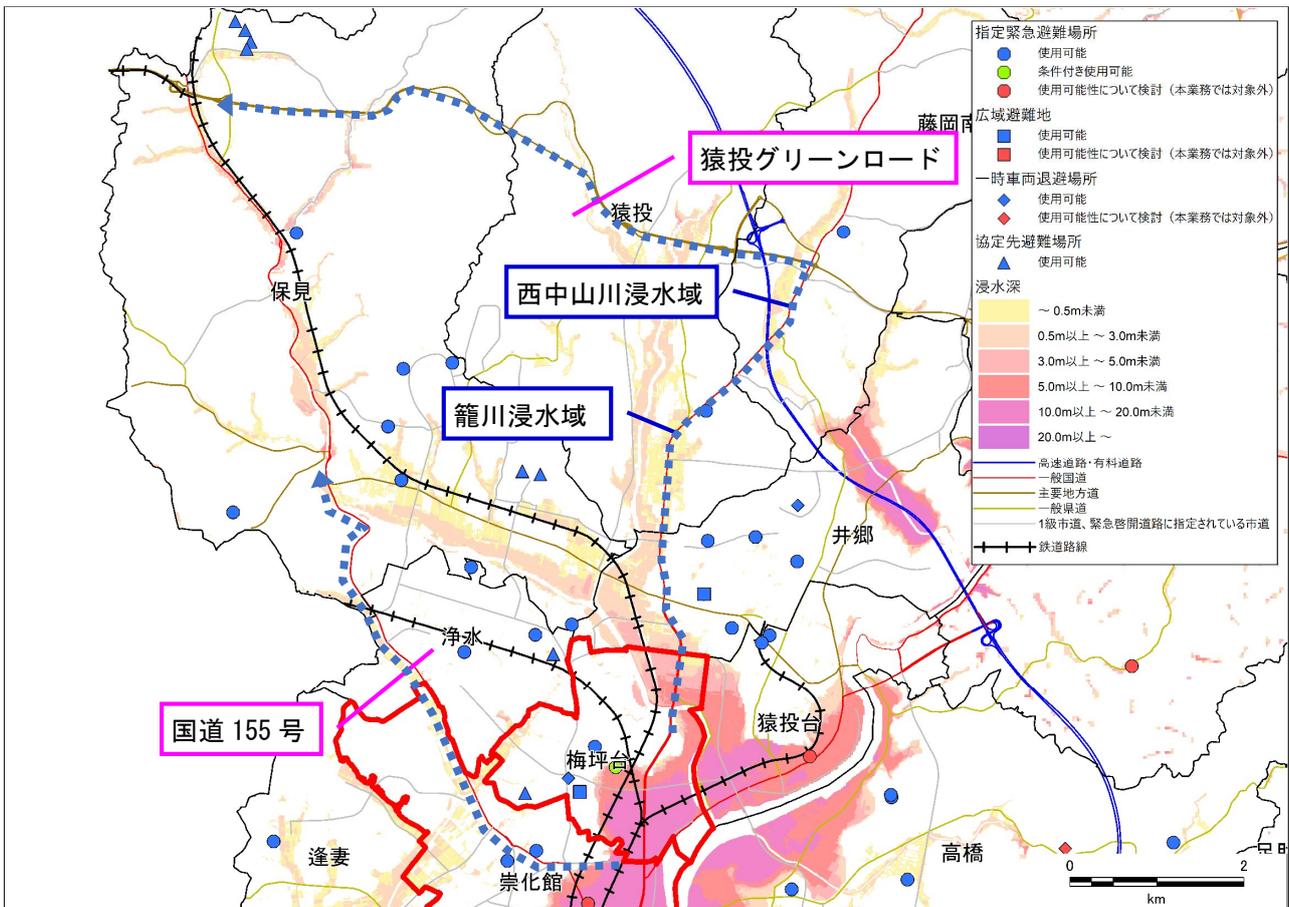
c) 梅坪台中学校区

【地区概要】

- ・学区の東側を中心に浸水するため、避難者は学区の東側に集中する。
- ・浄水学区が隣接するが、崇化館学区の避難者数が多く、また避難距離の長い避難者がいることから、梅坪台学区の避難者は、さらに北上した保見学区へと避難することにする。

【避難経路】

- ・学区の南側に、国道 155 号へのアクセス道路があるため、国道 155 号により北上し、保見学区へと避難する。
- ・ただし、国道 155 号は崇化館学区の避難者により混雑する可能性がある。国道 155 号を迂回するルートとして、猿投グリーンロードが挙げられる。猿投グリーンロードへ向かう経路には、籠川及び西中山川の浸水域を通る必要がある点に注意が必要になる。
- ・なお、保見中学校区は避難者の受入可能人数に余力があることから、梅坪台中学校区の全ての避難者を受入可能である。このため、梅坪台中学校区内の受入可能な避難施設は、避難行動要支援者などの遠距離の移動が困難な方や徒歩での避難者を受け入れる。



梅坪台中学校区の避難方針（案）